

また雛様を購入する運に至らないが、幸に父兄の有志から寄贈せられた雛様を修繕して飾つた。しかし幼児にとつて新しくとも古くとも彼等の雛様、幼児の雛祭として喜んで一日を愉快に過す準備に忙かしいところ。

四、視 察

新庄保母並に大野保母の兩人は、命によつて京都、奈良、大阪の二府一縣へ幼稚園保育の視察に出張した。二月十四日より四泊五日の旅行。關西幼稚園の状況を視察して得る所が大であらう。參觀の便宜を與へられ、いろいろ指導せられたる方々の御厚意を謝してゐます。

五、幼兒終了

三月二十日まで幼兒は幼稚園に出席。それまでの間に學年末の會をなす豫定。何れいろ／＼幼兒のお話や遊戲の催をなす。また實習科生徒の作業も加る筈。

三月二十五日には幼稚園の修了式舉行。二十六日より四月七日まで休業。四月八日午前九時より新しく入園する幼

兒を加へて百六十餘の生活作業が開始せられる。

六、保育實習科

この三月二十七日に修了する保育實習科生徒十七名、目下それ／＼就職の交渉。若き保母諸君の前途洋々。

更に四月より入學する保育實習科生徒約二十名は二月中募集。全國的に、何縣からでも志願し得ることになつてゐる。是等の志願者につき履歷書身體檢査書等につき選抜決定する筈で、所謂入學試験はない。不日その結果が發表せられるであらう。(三月一日稿 醫峰生)

○受験幼兒の感想

姉「陸子さん 今日どこへ行つて來たの」

『お茶の水幼稚園』

姉「どんなことがあつたの」

『先生と遊んで來たの。あしたまたいくわ』

姉「あした 行つてはいけないでせう。もうしばらくたつ

てからね」

「先生が五人これだけゐてね（五本の指を示し）これだ

けが男の先生よ（四本の指を曲げ小指を示しつゝ）

兼 ち や ん

東京女子高等師範學校教授 岡 田 美 津

第四 病氣の兼ちゃん

吉藏は夕飯をすまずと、

「行つて用足しをしてお出で。おれが兼公を見てゐてやるから。」と言つた。

「兼坊に口をきかせてはいけませんよ。」とお芳はいつて起ち上り、皿や鉢を音させぬやうに食卓から流し元の方へと運び

「昨夜はちつとも眠らなかつたのに今日はお晝後にすこしとろツとした位だから。ぐつすり眠るといゝんだが可哀さうに。だからなるたけ靜にさせておいて下さいよ。」

夫妻は小聲で話しあつてゐた。

「今夜はすこし快い方なのかな。」と夫は氣遣はしさうに訊いた。

「あゝ、すこしは快いんだよ。だけどお前さんが今日持つて歸つて來た七面鳥卵を食べる段にはなつてゐない。」